

What time do you usually get up?

このコミュニケーションタスクでは、現在形と過去形を使って、普段の活動や過去の出来事について話す練習をします。105 ページの **Speak&Write** に掲載されている絵を参考にするといいでしょう。

Instructions:

1. 最近、普段と違うことをしたことについて「I usually ...at...,but...」という文型を使って3つの文を考え、ノートに書かせます。今日すでにしたことであれば、「today」や「this morning」を使い、今日まだしていなければ、「yesterday」などを使います。

例：

「I usually get up at 6.30, but today/yesterday I got up at 7」

「I usually have breakfast at 7:15, but this morning, I had breakfast at 7:30」

• • •

2. 生徒はペアになり、最初に書いた3つの文をもとに会話をします。
3. 会話を発展させるために、「Why」と「because」を事前に教えておくといいでしょう。
4. 生徒 B は、最初のプロンプト（動詞や名詞）を生徒 A に教え、会話を始めます。まず教師が実演してみせるといいでしょう。

例 1：生徒 B の文「I usually get up at 6.30, but today I got up at 7」

B: [Prompt:] 'get up'

A: What time do you usually get up? What time do you have breakfast ?

B: I usually get up at 6.30, but today I got up at 7.

A: Why?

B: Because ...

生徒 B の文 2 「I usually have breakfast at 7, but today I had breakfast at 7.15」

B: [Prompt:] 'breakfast'

A: What time do you usually have breakfast?

B: I usually have breakfast at 7, but today I had breakfast at 7.15.

A: Why?

B: Because ...

5. 生徒 B は、「Because I did not hear my alarm clock」とか「Because my mother did not call me」などと言うのに苦労するかもしれませんが、1年生のシラバスも終わりに近づいているので、生徒に変化球を投げて、どれだけ工夫して返事を作れるかをみるのもいいでしょう。
6. 生徒には、書いた文を読み上げるのではなく、プロンプトをもとにパートナーを見て話すように促します。
7. 3文とも終了したら役割を交代します。

生徒たちのタスク中の会話に耳を傾けてください。生徒が困っていたらその場でヒントを与えたり、よくある間違いや問題をメモしておき、タスク終了後クラス全体で確認するといいでしょう。またいくつかのペアにもう一度やりとりをさせ、面白い理由をピックアップし紹介することもできます。表現するのに苦労した理由を英語でどのように言うかクラス全体で考えることにより表現の幅を広げることができます。